



教育実習特集号！

教育実習が始まります！

4年生にとっては、いよいよ教育実習が目前に迫ってきました。私も現場にいたころは、毎年実習生を受け入れてきましたが、実習を境に教職への意欲が増し、「絶対に教師になる！」という決意を固める学生をたくさん見てきました。それほど教育実習は教師を目指す皆さんにとってインパクトの強い体験になると思います。ぜひしっかりと準備をして、一生の記憶に残る教育実習に臨んでください。この体験が皆さんの教師としての財産になることは間違いありません。教職課程センターも、皆さんの実習先の学校と連携しながら、皆さんが充実した教育実習ができるようにサポートしてまいります。

実習中の注意点！

基本的な態度（あいさつ等）

- ◇ 朝は気持ちのいいあいさつから始めましょう。「おはようございます」と大きい声であいさつしながら職員室に入れば、それだけで気持ちが落ち着くものですし、先生方にも好印象ですね。
- ◇ 何か指導を受けたら必ず「ありがとうございます」とお礼の返事をするのを忘れないでください。
- ◇ 一日の活動が終わって帰宅する際も、「今日は一日ご指導ありがとうございました。お先に失礼いたします」と声をかけてから帰宅するようにしましょう。
- ◇ いうまでもなく「あいさつ」は人間関係の基本です。また社会人としての必須条件でもあります。実践してください。
- ◇ 身だしなみは「公私の公」をお願いします。襟付きのシャツ、ジャケット着用が基本です。アクセサリー類、ネイル等は避けてください。

サービスについて

- ◇ 朝はできるだけ職員朝礼開始 30 分前までには出勤しましょう。出勤したら最初に出勤簿に押印します。
- ◇ 朝の指導教諭との打ち合わせでは、今日の予定の確認など生徒に伝達すべき項目をしっかりとメモします。
- ◇ 時間を守ることは社会人としての最低限のルールです。打ち合わせや会議の開始時刻、授業の開始時刻には余裕をもって会場や教室に入りましょう。
- ◇ 実習中は、生徒の個人情報に接する立場になります。そのため実習生にも公務員に準ずる守秘義務が課されていることを忘れてはいけません。（地方公務員法第 34 条：職員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、また、同様とする。）
- ◇ 体調不良等で遅刻・早退・欠席する場合は、必ず事前に管理職（副校長）に電話で連絡を入れます。学校あてに、メールでの連絡はしてはいけません。（確認が遅れるため）無断欠席は単位認定の対象外となります。
- ◇ もしコロナに感染したりその疑い（濃厚接触者）があったりする場合は、速やかに管理職に連絡し、その指示に従ってください。
- ◇ 勤務時間は 8:15～16:45（途中休憩 45 分間で 7 時間 45 分勤務）の学校が多いです。勤務時間が終われば退勤できます。しかし部活動や学年会議等の活動に参加する場合は、指導教諭の指示に従って活動してください。（決して義務ではありませんが参加して得られるものが多いです）

生徒との関わり方について

- ◇ 実習生はあくまでも「指導者」です。生徒とは友達ではありません。生徒に対する言葉遣いは「～です。～ます。～さん」が基本です。生徒に対してフレンドリーであっても構いませんが、友達言葉で接してはいけません。
- ◇ 仮に生徒から求められたとしても、電話番号やメールアドレス、LINE のアカウント等を交換してはいけません。後日トラブルの原因になります。
- ◇ もし、自分の母校（出身校）で実習を行う場合、知っている生徒や保護者がいるかもしれませんが、その生徒や保護者と親密に接することは避けてください。結果として他の生徒や保護者からの信頼を損ねることにつながります。（すべての生徒と、分け隔てなく接することが大切です）
- ◇ どのクラスにも、配慮の必要な生徒、支援が必要な生徒がいます。そのような生徒への接し方については、あらかじめ担任の先生や学年主任の先生方と十分に情報交換をして、配慮のある接し方を心がけてください。
- ◇ 生徒の人格や人権を傷つけるような言動は厳禁です。過去には「こんな問題もわからないんですか？」とか「こんな点数じゃ高校進学は無理だな」等の心無い発言で生徒を傷つけたケースがありました。

教育実習あるある・・・ FAQ

Q：実習にはどんな服装で参加すればいいの・・・？

A：基本はスーツ又はジャケットスタイルです。（初日には全校生徒に紹介されます）男性はネクタイ着用、女性はスカートでもパンツスタイルでもどちらでも OK。ただし暑い時期なのでジャケットを脱いで授業をするケースが多いと思います。シャツやブラウスは最低 2 枚必要です。（4 枚用意すれば安心でしょう。）また時期的に運動会や体育祭の練習などが行われる学校も多いので、ジャージ上下と無地の T シャツ（ワンポイント程度）上履き、体育館履きも用意しておきましょう。



Q：勤務時間が終われば、早く帰りたいなあ・・・

A：勤務時間後の退勤は自由です。しかし提出物の点検、翌日の授業の準備、教材研究、実習日誌の作成・提出、さらにもし部活動の指導体験などをしていたら、時間はいくらあっても足りません。かといって毎日 8 時～9 時まで仕事をしていたら身体も心も持ちません。授業準備や日誌作成など必ず当日中に終えなければならない職務に集中して、できるだけ早く退勤できるようにしましょう。（いくら若いといっても生身の体です・・・）

Q：先生方が夜遅くまで仕事をしているので、先に帰りにくいなあ・・・

A：気持ちはわかりますが、先生方より先に退勤することは決して失礼なことではありません。むしろプロとして、翌日に疲労を残さないことも大切なことです。だらだらと残るのではなく、効率よく翌日の準備をして、終わったらできるだけ早く退勤してください。もし「えっもう帰っちゃうの・・・」的なことを言われたら、副校長先生にそのことを告げて対応してもらいましょう。

Q：実習日誌書き忘れて、3 日分たまっちゃった・・・もう思い出せないんだけど・・・

A：そう、人間は忘れる動物なのです。だからメモが大切です。日誌が完成しない場合も考えて、その日の活動は時系列で必ずメモして記録に残しておきましょう。

Q：うっかり 2 度寝しちゃって起きたら 8 時・・・絶対に間に合わない！ どうしよう・・・

A：とにかく、すぐに副校長先生に電話してください。遅刻はプロとしてマイナス評価ですが、正直に状況を説明して、できるだけ急いで駆けつけることを伝えてください。「電車が遅れて・・・」とか「急に体調が悪化して・・・」などの言い訳はダメです。誠実さがなければ信用されません。ごまかさずにありのままを伝えましょう。また本当に電車が遅延した場合などは、すぐに勤務校に状況を電話で連絡してください。

Q：部活指導に参加したら、6 時過ぎまで仕事ができない。できれば参加したくないんだけどなあ・・・

A：部活指導は義務ではありません。特に最初の 1 週間は無理をせず、2 週目・3 週目でもし余裕ができたなら参加するようにしましょう。

Q：指導案がなかなか書けない・・・どこから手を付ければいいんだろう。

A：50 分の授業で伝えられるメッセージは 1 つ、多くても 2 つ程度です。「授業後にこれができるようになってほしい」というゴールをまず設定しましょう。そしてそのゴールに生徒を導くためには、どの教材をどの順番で提示していくのか、どのタイミングでどんな発問をするのか、どのタイミングでどんな板書をするのか、を考えながら指導案を作っていきます。最初の 5 分間で導入、最後の 5 分間はまとめ、生徒の活動が 40 分程度に収まるように時系列で書いていきましょう。（次ページ参照）

目標（ゴール）
の設定

提示する教材
の準備・配列

発問計画

板書計画

学習指導案の書き方（例）

◎本時の目標【

】 ← 行動目標（～ができるようになる）で書く

指導経過 (時間)	学習のねらいと学習活動	評価と指導上の留意点
導入()分	<p>○学習のねらいを記述する。 ○具体的な学習活動を記述する。 ○生徒の活動を中心に記述する。</p> <p>導入時には「学習のねらい」を示し、「授業の流れ」を説明することで子どもが目標と見通しが持てるよう配慮する。</p>	<p>○学習活動に即した具体的な評価規準に位置付けて記述する。</p> <p>評価規準に基づいて具体的な指導の手立てを想定して記述する。</p>
展開()分	<p>①学習内容の取扱いに軽重をつける。 ②生徒の学習活動を重視した時間設定を行う。 ③生徒とともに考えたルールを授業に生かす。 ④発言や質問の機会を設定する。 ⑤考える時間や話し合う時間を確保する。</p>	<p>○指導上の留意点について記述する。</p> <p>実技、実習、実験観察等の場合は安全確保の方策について触れる。 発問計画を立て、予想される答えに対する再発問も考えておく。</p> <p>板書計画について、枠に収まらなければ別項目で示す。</p>
まとめ()分	<p>①グループによる話し合い活動 ②学習カードでの確認 ③自己評価カードへの記入。 等振り返り活動に時間を確保する。</p>	<p>評価計画について、記述する。</p>

◎本時の展開

◎準備する教材・教具

◎発問計画

◎板書計画

◎評価計画

評価計画は、観点との対応を明確にして書く。（3 観点のどれを評価するのか）

教師に求められる資質・能力は「時代や環境に左右されない普遍的な要素」と時代の変化に合わせて獲得していくべき要素」の2つの側面があります。今回はその2つの側面について考えていきましょう。

いつの時代も教師に求められる資質・能力【普遍的要素】

教育者としての**使命感**

広く豊かな**教養**

教科等に関する**専門知識**

人間的**魅力**

生徒に対する教育的**愛情**

人間の**成長・発達**についての深い理解



これらの資質・能力に基づく **実践的指導力**
生徒との **信頼関係の構築（絶対条件）**

実は、これらの資質の多くは、学生時代に獲得できる資質なのです。

幅広い読書

多彩な体験

多くの友人たちとの交流

などを意識することで、今からでも十分に身に着けることができます。

教育実習はこれらの資質が、自分にどの程度備わっているのかを、肌感覚で認識するために、大変有効な体験です。

これからの教師に求められる資質・能力【時代が求めている要素】

地球的視野に立って行動するための資質・能力

地球・国家・人間等に関する理解

豊かな人間性・コミュニケーション力（外国語）

国際社会で必要とされる普遍的な資質能力

これからの教師に必要な資質・能力です。キーワードは、

SDG's

国際理解 地球的視野

×正解 → ○納得解

違う立場を尊重する態度

Communication

Facilitation

Presentation

多様性・共生・想定外

等です。

変化の時代を生きる社会人に求められる資質・能力

未来を予想し、対応策を考え、実践し伝える力

人間関係に関する資質・能力

社会の変化に適応するための知識・技術

教師の職務から必然的に求められる資質・能力

生徒や教育の在り方に関する適切な理解

教職への愛着・誇り

教科指導・生徒指導のための知識・技術・態度

これらの資質をすべて身に着けることは現実的には不可能です。自分の性格や適性を見つめて、自分にはどの要素が獲得できるのか考えてみましょう。

（重点的に獲得する項目を絞り込む）